



わたしたちの暮らしと生き物

見てみよう



これまでに、みなさんは、わたしたちのすむ大阪市でいろいろな自然環境^{かん きょう}や生き物について、見たり、ふれたりしてきました。また、季節や場所によって、自然や生き物の様子にちがいがあることも学習してきました。

そんな自然や生き物について、どのようなつながりがあり、また、どのような環境^{かん きょう}で生きているか考えてみましょう。

「生物多様性」って何だろう？



生物の多様性って
どうして大切なんだろう？

▶▶ P.4~5

① アオスジアゲハ ② チョウトンボ ③ オオスカシバ ④ オオタカ ⑤ カンサイタンポポ

生き物と「ワンド」

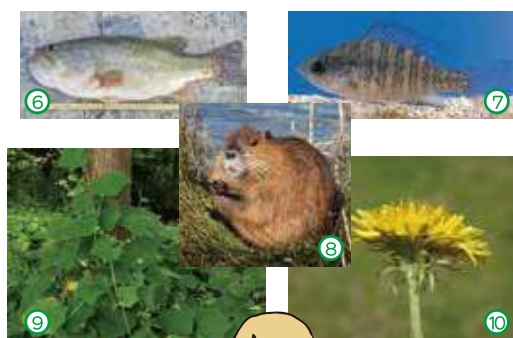


何のためにワンドを
つくったのだろう？

▶▶ P.6~10

しろきた
城北ワンド

「外来種」って何だろう？



外来種によって、自然がど
のように変わったのかな？

▶▶ P.11~12

⑥ オオクチバス ⑦ ブルーギル ⑧ ヌートリア ⑨ アレチウリ ⑩ セイヨウタンポポ

自然を守るために どんな活動をしているのかな？



わたしたちにできる
ことは何かな？

▶▶ P.13

1 自然のめぐみ＜生物多様性＞

地球上には3,000万種ともいわれるさまざまな生き物がいます。生き物はそれぞれに個性があり、つながりあって生きています。この生き物たちの豊かな「個性」と「つながり」を生物多様性といいます。

わたしたち人間も、この生物多様性の一部です。わたしたちの暮らしは、たくさんの生き物や自然環境によって成り立っています。

はさがけ

木材などを組んでつくった「はさ」に、刈り取った稲を、たばねてかけ、天日で乾燥させること。



イネ



イネのはさがけ



ワタの花



ワタの実



ワタ(綿花)の糸より



阿倍野区 晴明丘小学校の林間学校のような

(出典：環境省「こども環境白書」を加工して作成)

失われつつある生物多様性

わたしたち人間の暮らしによって、生き物を取り巻く環境が変わり、生物多様性が急速に失われつつあります。

地球の歴史の中では、これまでに自然現象の影響によって恐竜の大量絶滅などが起きています。しかし、今起きている絶滅のスピードは自然状態の100～1,000倍にもなるとわれています。

日本では3,716種もの生き物が絶滅の危機にあるとされています。

秋の七草で知られるフジバカマ、雑木林でよく見られた国蝶オオムラサキなど、わたしたちに身近な生き物も絶滅のおそれがあります。

生物多様性に関する問題を引き起こす原因

開発

道路や工場、住宅などをつくるために、生き物のすみかがこわされています。



地球環境の変化

人間の生活が原因の地球温暖化などによって、今までの生活ができなくなり、絶滅の危機にさらされている生き物がいます。



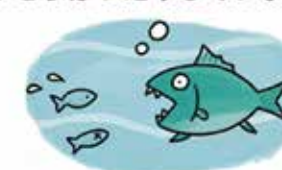
化学物質

農薬などの化学物質が、生き物に悪い影響をあたえています。



外来種

外来種が、その地域にもともといた生き物(在来種)を食べたり、すみかをうばったりしています。



(出典：環境省「こども環境白書」を加工して作成)

このまま生物多様性が失われていってしまうと、多くの生き物に支えられているわたしたちの暮らしも成り立ちません。

さまざまな生き物がくらしていける自然環境を守るために、わたしたちにどんなことができるのでしょうか。



フジバカマ



オオムラサキ(おす)



オオムラサキ(めす)

外来種

もともとその地域にはいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生き物(P.11)

身近な場所を調べてみよう！
どんな生き物や自然を見つけられるかな？

